

1) 建築設計事務所の場合

様式第1号の3 (第3条関係)

実務経歴証明書

① 令和〇〇 年〇〇月〇〇日

長崎県指定登録機関
一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様

② 株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役所長
証明者 登録 太郎 印

③ ・建築士事務所登録番号 → 〇〇県知事登録 第〇〇号〇〇
・建築士番号 → 建築士登録 第〇〇号

④ 住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

⑤ 電話番号 〇〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
担当 (株)〇〇建築設計事務所〇〇部 免許一郎
Tel 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

⑥ 免許申請者との関係 申請者が所属する建築士事務所開設者

下記の者が申請した 二級木造 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

⑦ 1. 免許申請者氏名 建築 士郎

⑧ 2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

⑨ 建築実務の内容：
・事務所ビル(鉄筋コンクリート造 5 階建て、延べ面積 2,000 ㎡)の基本設計の補助を担当。
・小学校(木造 3 階建て、延べ面積 3,000 ㎡)の基本設計・実施設計の補助を担当。
・病院(鉄筋コンクリート造 3 階建て、延べ面積 2,500 ㎡)の設計と条件の整理を担当。

⑩

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

【記入についての確認事項】

① 証明年月日

証明年月日が、「実務経歴書」の「建築実務経験期間」に記入された日付より後であること。

② 証明者

以下の1～3の証明者に応じ、署名または記名・押印（押印は代表者印に限ります）があること。

1. 申請者が所属する建築士事務所の開設者（署名 ※または記名・押印）
2. 申請者が所属する建築士事務所の管理建築士（署名）
3. 申請者が所属する建築士事務所の所属建築士（署名）

※署名の場合は、押印不要です。

③ 建築士事務所登録番号及び建築士登録番号

「②証明者」が所属する建築士事務所の登録番号を記載

「②証明者」が建築士資格を有している場合、建築士登録番号を記載

④ 住所・所在地

「②証明者」が所属する建築士事務所の住所・所在地が正確に、都道府県から番地、ビル名等を記載すること。

⑤ 電話番号

「②証明者」が所属する建築士事務所の電話番号を、市外局番から記入すること。

⑥ 免許申請者との関係

免許申請者と「②証明者」の関係を記入すること。

⑦ 免許申請者氏名

実務経歴書に記入された免許申請者の氏名と相違ないこと。

⑧ 建築実務経験期間の合計

実務経歴書に記入された「建築実務経験期間の合計」と相違ないこと。

⑨ 建築実務の内容

実務経歴書に記入された「実務経験の対象となる業務の内容」を簡潔に記入すること。

⑩ 備考